

さくら市 議会だより

令和元年5月1日

No. **57**
2019年

ちよど
いい!
さくら市



SAKURA
CITY

《市民すべてが、暮らしやすいと実感できる魅力あふれる「さくら市」を目指して》



目次



- ◆ 第1回定例会のあらまし ……2～3
- ◆ 議員力向上研修報告 ……16
- ◆ 予算審査特別委員会 ……4～5
- ◆ どうなったんべ あの質問は ……17
- ◆ 各常任委員会 ……6～7
- ◆ 議会だよりリニューアルの歩み ……18～19
- ◆ 一般質問ここが聞きたい ……8～14
- ◆ 市民の声・次回の定例会の予定 ……20
- ◆ 議会レポート ……15



第1回定例会のあらまし

平成31年第1回定例会が2月21日から3月13日まで開催され、さくら市瀧澤家住宅設置条例の制定について等の議案20件、諮問1件、追加議案2件、追加議員案1件を、原案どおり可決、1件の報告を受けました。

一般質問では7名が登壇し市政を問いました。

上程された主な議案

◆一般会計補正予算

主な歳入補正

(第7号)

・藤原部分林立木売払収入



311万円

(第8号)

・プレミアム付商品券事務費補助金



276万8千円

プレミアム付商品券事業
※一部対象者のみ。詳細は総務常任委員会(P6)をご覧ください。

会議結果・賛否の公表、請願・陳情の審議結果については市HPをご覧ください。



会議結果・賛否の公表



請願・陳情の審議結果

主な歳出補正

(第7号)

・生活路線バス補助事業



△390万3千円

・桜の郷づくり事業



773万7千円

・民間保育園事業



1,410万円

さくら市瀧澤家住宅設置条例の制定について

郷土の歴史及び文化に対する関心を高め、教養、学術及び文化の振興に寄与するため、さくら市瀧澤家住宅を設置する。



さくら市民の歯及び口腔の健康づくり推進条例の制定について

基本理念を定め、市の責務を明らかにし、歯及び口腔の健康づくりの推進に関する施策を定めることにより、市民の健康の保持増進に寄与することを目的とする。



人権擁護委員候補者の推薦

小森 茂 氏 (喜連川)

平成30年度 補正予算の概要

会計区分		補正額	予算総額
一般会計	(第7号)	▲ 4億5,896万円	186億2,680万1千円
	(第8号)	997万円	186億3,677万1千円
氏家都市計画事業上阿久津台地土地区画整理事業特別会計補正予算(第4号)		▲ 6,718万1千円	4億2,442万9千円
公共下水道事業特別会計補正予算(第2号)		▲ 4,090万9千円	14億6,027万8千円
農業集落排水事業特別会計補正予算(第1号)		-	5,231万円
国民健康保険特別会計補正予算(第2号)		4億6,210万4千円	46億7,407万3千円
後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)		422万2千円	4億2,331万4千円
介護保険特別会計補正予算(第3号)		1億9,126万8千円	33億867万3千円

予算審査特別委員会

◎渋井 康男 ○若見 孝信
他委員全員

予算審査特別委員会では、2月27日、28日、3月4日の3日間にわたり、全委員出席のもと開催しました。一般会計、特別会計、企業会計予算について、慎重に審査を行い全員賛成のもと原案のとおり可決すべきものと決しました。

市長への要望事項

- 1 差し押さえなどの執行については、相手の立場、生活状況を十分考慮したうえで、適切な対応を図ること。
- 2 普通財産の貸付、借用、取得、処分等については、資産価値と運用効果をよく見極め、総合的な判断のもと、適切に運用すること。
- 3 消防機能の低下を招かぬよう、さくら市独自の支援制度も視野に、団員確保に向けて、有効な対策を講じること。
- 4 外国人労働者が増加し、受け入れ支援や対応など、様々な方策が必要になる状況を想定した上で、国際化推進事業の計画を立て予算編成を行うこと。
- 5 議員のなり手不足の一因である議員報酬について、本市の現状を鑑み^{かんが}妥当性について、多角的に検討すること。
- 6 待機児童の解消に向けて、保育士の確保のための労働条件の改善とともに、保育現場の現状と保育士の働き方について、実態に即した十分な検証を行うこと。
- 7 老人クラブ活動を支援するための、公平かつ適正な補助金額の算定について、改めて検討すること。
- 8 収蔵作品の充実を図ることは、ミュージアムの魅力向上とイメージアップが図られ、集客力にもつながることが期待できるので、事業予算を有効に活用すること。
- 9 進化プランにある「農産物(品)の売り上げ1.2倍」及び「桜の郷づくり事業」に対する予算については、目的達成に向けた積極的かつ効果的な、予算措置を行うこと。また、道路改良及び道路維持補修事業、並びに農道整備事業予算についても、必要箇所を計画的に推進すること。
- 10 公営住宅維持管理事業について、入居率の低い住宅については、原因をよく分析した上で、家賃や入居条件の見直しを検討する等、有効な対策を講じること。また、市営住宅の維持管理全般について、指定管理者制度の手法も、併せて研究すること。

2019年度予算 目玉事業



市予算を、「予算審査特別委員会」で慎重審議し、すべての会計予算を可決しました。そのなかで、議会が注目した目玉事業を紹介します。

▶総務費

シティプロモーション事業 2,349万5千円

- ・地域運営組織支援モデル事業 48万円
- ・口座振替促進事務 439万5千円

▶商工費

商店街の景観・ホスピタリティ向上事業 1,023万円

- ・さくらブランド認証事業 301万8千円

▶民生費

介護給付・訓練等給付事業 6億9,653万5千円

- ・学童保育施設整備事業 6,200万円
- ・児童医療費助成事業（現物給付） 2億2,860万8千円

▶土木費

都市計画マスタープラン策定事業 199万1千円

- ・ブロック塀等撤去費補助事業 100万円
- ・空家等対策事業 107万7千円

▶衛生費

塩谷広域行政組合環境施設建設費負担金 7億641万円

- ・公的病院等支援事業 1,300万円

▶消防費

消防施設整備事業 7,433万6千円

※写真はイメージです

- ・自主防災組織活動支援事業 90万円

▶農林水産業費

園芸作物推進支援事業 1,200万円

- ・農業用機械等導入支援事業 300万円
- ・森林経営管理制度事業 322万円

▶教育費

上松山小学校増設事業 3億2,815万2千円

- ・文化財保護事務 635万2千円
- ・ミュージアム施設維持管理事業 9,238万9千円
- ・ゴルフ活性化推進事業 200万円
- ・総合公園管理事業 4,314万1千円

予算審査特別委員会

予算審査特別委員会

総務常任委員会

◎鈴木 恒充 ○若見 孝信
大河原 千晶・岡村 浩雅・永井 孝叔・渋井 康男

議案第7号 平成30年度さくら市一般会計補正予算（第7号）[所管分] について

◎ 藤原部分林を保有するに至った経緯とは、また、立木の数と面積はどのくらいか。

▲ 昭和37年頃、学校施設を建てるのに使用するため、当時の喜連川町長が国有林の所有者である国と契約を結んだ。立木の数は25,550本、面積は90.585㎡である。

◎ 文教施設災害復旧事業において、補助対象外の部分が出た理由はなにか。

▲ 被害を受けた氏家中学校サッカーグラウンドの支柱は経年劣化によるクラック等の老朽化が進んでいたため、今回の暴風が倒壊の直接の原因と判断されなかったから。



桜の郷づくり事業植栽予定地

追加議案第1号 平成30年度さくら市一般会計補正予算（第8号）について

◎ プレミアム商品券の配布対象世帯数は。

▲ 現時点で正確な数は把握できていない。対象である住民税非課税者が7,659人、0歳から2歳児の数が1,104人いるが、同一世帯の中に重複しているケースもあるため今後抽出作業を行い確定していく。

追加議案第2号 2019年度さくら市一般会計補正予算（第1号）について

◎ プレミアム商品券発行事務に際し、具体的な仕事内容は。

▲ 市役所本庁舎と喜連川支所の2ヶ所で商品券引換えや配布の業務を予定している。

《現地調査》

● 桜の郷づくり事業植栽予定地 ● 南小学校学童保育施設増設予定地

文教厚生常任委員会

◎福田 克之 ○高瀬 一徳
石原 孝明・石岡 祐二・角田 憲治・小堀 勇人

議案第1号 さくら市瀧澤家住宅設置条例の制定について

◎ 瀧澤家住宅の指定管理は。また、開館はどの程度か。

▲ 今はまだ考えていない。指定管理に移る前の施設の管理などは、シルバー人材センターなどをお願いしたい。開館は、年間を通じて行うことを目指している。

議案第2号 さくら市民の歯及び口腔の健康づくり推進条例の制定について

◎ 他の自治体での条例の制定状況は。

▲ 平成29年度末現在では15市町で条例を制定している。平成30年度中においては、さくら市を含め3市町で制定する予定。

議案第4号 さくら市国民健康保険税条例の一部改正について

◎ 財政調整基金の財政状況と今後の見込みは。

▲ 基金の残高は8億5千万円程度であり、新年度は県への納付金が約1億2千万円程度上昇するため、その不足分を基金から繰り入れる。

議案第7号 平成30年度さくら市一般会計補正予算（第7号）[所管分]について

◎ 年度末の確定に伴っての補正だが、再度変更する余地はあるのか。

▲ 平成29年度の精算確定に伴うものについては確定である。事業によっては来年度確定した後で償還金が生じる場合があるので、今年度確定しない。

《現地調査》

● 総合公園 ● 熟田小学校 ● 南小学校学童保育センター
● 南小学校学童保育施設増設予定地
● グローバルキッズメソッド ● 清風園



熟田小学校にて

陳情第1号 精神障害者に身体・知的障害者同等の福祉サービスの適用を求める陳情書について
委員全員の意見の一致により、陳情第1号は採択。

建設経済常任委員会

◎櫻井 秀美 ○笹沼 昭司
吉田 雄次・加藤 朋子・手塚 定・矢澤 功

議案第7号 平成30年度さくら市一般会計補正予算（第7号）[所管分] について

◎ とちぎ材の家づくり耐震支援事業補助金の減額理由は。

▲ 申請件数が1件であったためである。次年度以降申請件数が増えるよう事業PRに努める。

◎ 橋梁維持事業で資材調達などが遅れた理由は。

▲ 河川の渇水期は橋梁に関する工事が集中するため、補修工事に必要な資材の調達や特殊作業員の確保に不測の時間を要したためである。

議案第8号 平成30年度氏家都市計画事業上阿久津台地土地区画整理事業特別会計補正予算（第4号）について

◎ 調整池洪水吐法面復旧事業費の地方債追加となったが、災害費で計上できないのか。

▲ 災害費は現状回復が原則であるため、現況以上の強度を施す工事は災害費の対象とならない。

◎ 釜ヶ淵土地改良区の用水に影響はないのか。

▲ 農家の繁忙期と重なるが、地元役員と協議調整し施工している。

議案第9号 平成30年さくら市公共下水道事業特別会計補正予算（第2号）について

◎ 建設工事、業務委託料の減額理由は。

▲ 国庫補助金の減額による工事量減と下水道処理センター維持管理事業の業務委託料（汚泥処理分）で、発生活泥量の増加を見込んでいたが前年並みの量となる見込みのため減額となる。

《現地調査》

● 塩谷広域行政組合エコパークしおや



エコパークしおや



石原 孝明 議員



QRコード
(動画配信)
YouTube

Takaaki Ishihara

農地利用と農産物売上1.2倍について

▶ 達成に向けて多方面において精力的に取り組んで行く

Q 現在担い手に農地が機構を通し集約されている面積は。

A 平成29年度末で2,994ha、農地利用集積率は56.7%であり国の目標と示している平成35年度（令和5年度）80%達成までには更なる取り組みが必要。

Q 現在遊休農地の対策は。

A 本市の販売農家の平均年齢は平成27年時点で65.5歳と年々高齢化が進んでおり、農地の遊休化の更なる進行を危惧している。具体策として平成30年度から再生・作付け圃場に補助金の交付を行っている。また、さくら市版の※農地バンクの創設準備に着手を進めている。

Q 農産物売上1.2倍に向けた取り組みは。

A 今年度は推進協議会を立ち上げ、3回開催をし検討。また、市単独事業として、遊休農地解消事業、農道普請事業、新規作物導入者種苗代補助事業を行っている。



米麦の乾燥施設

上水道事業の整備について

Q 氏家東部地区の延伸は。

A 箱森新田・松島・松山新田地域はおおむね整備完了。今年度末全体計画に対し71.5%の進捗状況である。新年度事業予定地は、谷中・根本・八方口・鍛冶ヶ沢・松山地区である。

Q 老朽化した配管はどのくらいあるか、また改修費は。

A 本市が有する水道延長は約441km、耐用年数40年を経過した老朽管は約18kmである。老朽管の代表的な石綿管の布設替工事については、10年以上の継続期間、総額概算で約5億円程度と考えている。



※農地バンク(農地中間管理機構)
貸したい・売りたい農地を集め、借りたい・買いたい農業経営者に提供する仕組み。



角田 憲治 議員



QRコード
(動画配信)
YouTube

Kenji Kakuta

市長の年頭所感について

▶ きちんと伝わるような工夫をしていく

Q 一般的な内容は。

A シティプロモーションなど魅力発信という観点も含め、さくら市の長所をわかりやすく発信する中身にした。特に本市の長所として、人口減少時代にあるにもかかわらず、この10年間の人口増加率は県内第1位であり、15歳未満の人口の比率も、県内第1位で、子どもが多いという特徴がある。これは子育て世代の移住が多いことを示している。



道の駅 プロジェクションマッピング

Q 企業誘致については。

A 工業用機械関連会社等9社を誘致できた。すでに6社が操業を開始し、90人程度の雇用に繋がった。

Q わくわく保育園については。

A 将来の入園者数の推計や、施設のスペースとの関係で現在行っている混合保育については、1年後には解消される見込みであり、今般の施設改修については見送った。

Q 課外「さくらスクール」と学力向上は。

A 課外スクールは教師の努力、子ども達の努力、保護者の努力という3つの努力を、後押しする地域の力である。徐々にではあるが、効果を発揮して、学年、教科によっては学力テストで県内上位に迫る結果も出た。

さくら市公共施設等総合管理計画について

Q 長寿命化への対応策及び、今までの取り組み状況と今後の方向性は。

A 法定点検以外に職員が点検を行い、施設の状況を常に把握しておく必要がある。このため、専門的知識のない職員においても容易に点検ができるよう、マニュアルを策定し説明会を開催した。自主点検を徹底することで予防的な修繕を実施し改修費用の最小化に努める。

Q 予算、国・県関係の補助等については。

A 学校や橋梁など補助金の活用が期待できる事業については最大限導入し、庁舎など補助がないものは基金や起債を活用していく。これからの状況を踏まえ、公共施設等整備基金や庁舎建設基金などに計画的な積立を行う。



笹沼 昭司 議員



Shoji Sasanuma

公共交通について

▶ 来年度(2019年)にさくら市地域公共交通網形成計画策定予定

Q 乗り合いタクシーの運行状況と課題は。

A 喜連川地域については、コンタ号の愛称でワゴン型10人乗りとセダン型5人乗りの2台で運行している。氏家地区については、うのはな号の愛称でセダン型5人乗り2台で運行している。

課題としては氏家喜連川地区間の移動や土曜日・日曜日の運行の対応について検討している。



コンタ号



うのはな号

置き勉について

Q 置き勉について認めているのか。

A 「日常的な教材や学習用具等について」「学期始め学期末における教材や学習用具などについて」「その他留意する点について」という3つの内容で9項目の配慮事項を示し、現在は市内各学校が統一した考えのもとで置き勉を実施している。

老老介護について

Q 市が取り組む計画はあるか。

A 本市の状況は平成31年1月1日現在、おおむね500世帯から600世帯が老老介護状態と推察している。その取り組みはサービス付き高齢者向け住宅と、特別養護老人ホームを整備する法人の募集を今年度実施した。

中小企業の振興について

Q さくら市中小企業及び小規模企業振興基本条例が平成30年7月1日に施行されたが、支援策等の提供は。

A さくら市経営活性化支援事業として補助対象経費の一部(最大50万円)を交付するもので、中小企業者・小規模企業者あわせて12件で補助額447万6,000円が採択された。またさくら市中小企業特許権等取得支援事業として市内の中小企業者の技術力・開発力の向上を念頭に、特許権・実用新案権・意匠権・商標権を取得するため、補助金対象経費の一部を交付するものである。



櫻井 秀美 議員



Hidemi Sakurai

道の駅きつれがわ前期1,400万円の赤字対策について

▶ にぎわいと売り上げ増の現出を図る

Q 平成30年第4回定例会での一般質問で前期の1,400万円の赤字を踏まえ、対処したいとしたがその対策は。

A 販路開拓による売り上げを伸ばすため、首都圏等での出張販売を実施。また屋外空間の有効活用として、移動販売車による営業を開始するなど、売り上げの確保に努めたほか、観光バス誘致のため営業活動を行った。また4月から電力会社の契約変更による光熱費削減や交通誘導警備員数の見直しによって経費削減に努めている。



移動販売車

Q 今期の賃借対照表、損益計算書の検証について。

A 12月末現在、売り上げ総額は税抜きで約5億6,068万円、前年比較約96.5%となっている。支出総額は1億7,194万円と前期比較で約97.4%と削減を図っているものの、当期利益は営業外収益を合わせて約155万円のマイナスとなっている。

入管法、TPP対策について

Q 総合的な国際戦略の考えはあるのか。

A 入管法の改正により外国人の増加が予想されることから、国際交流協会や企業振興協議会関係企業などと連携し、受け入れ体制強化について協議していく。

TPP対策としては、繁殖雌牛導入補助事業について事業の拡充を、また豚肉への影響対策として、県で行う優良な繁殖用豚への助成制度などと連携して取り組んでいく。



外国人生活サポート説明会

Q 市内企業の海外展開支援や農産物の輸出強化及び支援の考えはあるのか。

A さくら市経営活性化支援事業において展示会見本市への出店、相談会への参加、商品PRイベントの実施など、企業の積極的な活用を促していきたいと考えている。

また海外輸出に意欲のある企業、農業者、団体に対して県やJAグループ、民間企業などと連携しながら本市農産物の販売促進を図っていきたい。



若見 孝信 議員



Takanobu Wakami

健康と働き方について

▶ **しっかりと休日をとることが大切**

Q 職員の人件費と物件費の賃金推移について。

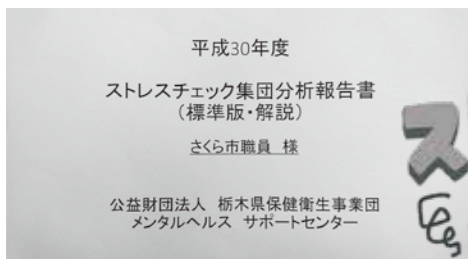
A 新規採用を控えるなどの対策をとり、昨年度決算ベースでは人件費と物件費の賃金を合わせて28億7,588万5千円となっている。また、決算全体に占める人件費の割合は13.83%で県内の市の中では4番目に低い割合である。

Q 時間外勤務の現状とその対応策について。

A 一か月の平均時間外勤務時間は14.7時間であり、財政課・市民福祉課・学校教育課・保険高齢課が特に多い部署である。各管理職を筆頭に職員の業務へのかかわり方、働き方を意識し、改善する努力が必要である。

Q ストレスチェック結果、メンタルでの長期休業者について。

A 全国平均が10%で、県内事業所11.4%、さくら市では13%である。また、普段から相談しやすい環境、いち早く気づいて対応するなど職員が働きやすい環境整備に取り組むことで改善を図りたい。



Q 中途退職者の現状とその理由について。

A 職員個人によって事情が異なるが、詳細な理由は求めている。自己都合退職が多いのが現状である。

Q 働きやすい環境整備に向けた取り組みについて。

A 産休・育休終了後の時短勤務や大学での自己研鑽の機会を充実させ、適正な職員の確保や職場の環境整備を整えたい。

子育て環境の変化について

Q 児童虐待の現状と対策について。

A 平成30年度に児童虐待として新規に受理した案件は39件であり、内訳は身体的虐待8件、心理的虐待14件、*ネグレクト16件、性的虐待1件であった。また、対策としては、家庭相談員2名、母子父子自立支援員兼婦人相談員2名が対応している。

Q 妊産婦ケア、産後ケアについて。

A 費用の助成と産前産後サポート訪問事業など県内に先駆けた取り組みを開始している。また、夫からの協力が大切であり、妊婦模擬体験などを通じて妊婦への理解を図っていききたい。



パパママ教室

*ネグレクト(育児放棄)
家に閉じ込める、食事を与えない、ひどく不潔にする、自動車の中に放置する、重い病気になっても病院に連れて行かない など



福田 克之 議員



Katsuyuki Fukuda

市民活動支援センターについて

▶ **2020年4月開設を目指す**

Q 今後の考え方と進め方について。

A 昨年、市内で市民活動やボランティア活動を行う団体の皆様に集まってもらい、市民活動支援センター設立に向けた市民ワークショップを実施した。運営の核になるコーディネーターの募集や養成研修を実施するなど、2019年度も継続していく。センター設置場所については既存施設の有効活用や人々が集いやすい場所などの観点で設定し、2020年4月開設を目指す。



市民活動支援センター(仮)設置に向けた意見交換ワークショップ

生活困窮者自立支援事業について

Q 現在の進捗状況について。

A 生活困窮者自立支援法施行に伴い、市民福祉課内に自立支援係を配置し、事業を実施するとともに、費用対効果などについて検証してきた。

Q 今後の考え方と進め方について。

A 2019年度からさくら市社会福祉協議会に事業を委託することになるが、市としては、地域の様々な課題に対応するため体制強化、組織の拡充等も必要と考えている。市社会福祉協議会に必要な事務事業について考察をお願いする。

バイオマス産業都市について

Q 現在の進捗状況について。

A 現在、国はバイオマス産業都市の選定地域数を100としているが、既に全国84市町村が選定されている。環境にやさしい小都市を目指す本市としては、「2019年度構想」提出に向けて1月18日に一般社団法人日本有機資源協会と策定業務委託契約を結んだ。

Q 今後の考え方と進め方について。

A 既に*エリアンサスを活用した事業が行われており、さらに関係機関と連携してCO₂(二酸化炭素)抑制や地域循環型のエネルギーの導入を推進してスマートコミュニティの実現を目指す。



エリアンサス

*エリアンサス
イネ科の植物。これを原料としてペレットを製造し、ペレットボイラーの燃料に使用する。

一般質問ここが聞きたい

一般質問ここが聞きたい



加藤 朋子 議員



QRコード
(動画配信)
YouTube

Tomoko Kato

障害者施策について

▶ 障がい者目線に立った整備に当たっていききたい

Q バリアフリー解消は。

A 「栃木県ひとにやさしいまちづくり条例」に基づいて、施設のバリアフリー化に取り組んできた。今後は各施設の管理者との連携を強化するとともに、関係機関の意見を伺い障がい者目線に立った配慮をしていきたい。

Q 手話言語条例の制定は。

A 本市では聴覚障害者に手話通訳者や要約筆記者を派遣する意思疎通支援事業を実施している。今後は条例を制定している各市の状況や県の取り組みを重視しながら、条例制定の必要性及びその効果の確認を行って判断したい。

Q 障害者スポーツの推進は。

A これまでも施設の使用料を減免するなど障害者スポーツの推進に取り組んできた。今後とも、身近にスポーツを感じ積極的に参加できるよう障がい者に配慮した施設環境の整備、改修を適宜進めていきたい。



障害者スポーツ「ボッチャ」

幼保無償化への市の対応は

Q 何がどう変わるのか。

A 国からの方針が示されていないので、決定次第それに基づき対処する。

Q 新たに発生する需要と予測の対策は。

A 児童数については、小学生人口を2021年にピークと予測し、将来的に大幅増員にはならないと見込んでいる。

Q 待機児童解消策との兼ね合いは。

A 受け入れ枠の増加と無償化スタート後の実際の人数を見極め、2020年には待機児童を解消出来るように対処したい。



市内保育園

地域共生社会について

Q どう実現させるのか。

A 様々な人が自由に集う居場所づくりに取り組むことが地域共生社会の実現につながると考え、組織機構見直しで社会福祉係に地域共生社会担当を加えた。さくら市ならではの地域包括ケアシステムを確立し、地域共生社会の実現に向けて取り組んでいく。

議会レポート

県央六市議会議長会議 平成31年1月22日

県央六市（宇都宮・鹿沼・真岡・さくら・日光・下野）
・石岡 祐二 議長

県北五市議長会議 平成31年2月12日

県北五市（大田原・矢板・那須塩原・さくら・那須烏山）
・石岡 祐二 議長
・岡村 浩雅 副議長

各種委員会等出席

- 表彰審査委員会
1月15日
・石岡 祐二 議長
・岡村 浩雅 副議長
・鈴木 恒充 総務常任委員長
- 保育園運営審議会
1月24日
・櫻井 秀美 議員
- 都市計画審議会
1月28日
・福田 克之 議員
・小堀 勇人 議員

●塩谷広域行政組合議会定例会

2月15日
・石岡 祐二 議長
・永井 孝叔 議員
・鈴木 恒充 議員
・角田 憲治 議員
・矢澤 功 議員

●公共下水道審議会

3月8日
・石岡 祐二 議長
・吉田 雄次 議員
・矢澤 功 議員

●消防委員会

3月11日
・笹沼 昭司 議員
・石原 孝明 議員
・渋井 康男 議員

●環境審議会

3月14日
・永井 孝叔 議員

●観光施設管理協会理事会

3月23日
・若見 孝信 議員
・角田 憲治 議員

監 査

- 定例監査
2月4日、7日、13日、15日
- 例月現金出納検査
1月29日、3月1日、25日
・小堀 勇人 議員

視察等来訪

- 1月31日
茨城県守谷市議会の「もりや創世会」のメンバー4名が、道の駅さくらがわについて視察に訪れました。
- 2月23日
アルビレックス新潟レディースの選手がさくら市に冬季キャンプに訪れ、その歓迎セレモニーが行われました。



議会の動き

1月

- 9日 氏家消防署年頭訓示式
- 11日 氏家商工会新春賀詞交歓会
- 13日 第14回さくら市成人式
- 15日 議員全員協議会 表彰審査委員会 議会広報委員会
- 17日 議員全体研修
- 19日 さくら市ミュージアム荒井寛方記念館 こども絵画展表彰式
- 21日 喜連川商工会新春のつどい 議会広報委員会
- 22日 県央六市議会議長会議 議会広報委員会
- 24日 区長会賀詞交歓会 保育園運営審議会
- 27日 第10回福祉講演会
- 28日 都市計画審議会
- 29日 例月現金出納検査 塩谷市町村議会議長会行政懇談会
- 31日 茨城県守谷市議会（もりや創世会）行政視察来訪

2月

- 1日 市立中学校立志式
- 2日 氏家雛めぐり開会式
- 3日 第14回さくら市武道大会
- 4日 定例監査
- 5日 議員全員協議会
- 7日 定例監査
- 8日 議会運営委員会
- 12日 議員全員協議会
県北五市議長会議 さくら市農業再生協議会臨時総会
- 13日 定例監査
- 15日 定例監査 塩谷広域行政組合議会定例会
- 19日 自治功労者表彰式
- 21日 議会運営委員会

21日 議員全員協議会

- 第1回定例会開会 議会広報委員会
- 22日 第1回定例会一般質問
- 23日 アルビレックス新潟レディース歓迎セレモニー
- 25日 第1回定例会一般質問
- 27日 第1回定例会予算審査特別委員会（総務所管）
- 28日 第1回定例会予算審査特別委員会（文教厚生所管）

3月

- 1日 さくら清修高等学校卒業式 例月現金出納検査
- 2日 “地元商店の売上1.1倍”に関する講演会
- 3日 第14回さくら市駅伝大会
- 4日 第1回定例会予算審査特別委員会（建設経済所管）
- 5日 文教厚生常任委員会
- 6日 建設経済常任委員会
- 7日 総務常任委員会
- 8日 市立中学校卒業式 公共下水道審議会
- 11日 消防委員会
- 13日 議会運営委員会
議員全員協議会
第1回定例会閉会
- 14日 天皇陛下御即位30年奉祝栃木県民の集い
- 15日 喜連川土地改良区第12回通常総代会 環境審議会
- 15日 氏家幼稚園卒園式
- 19日 市立小学校卒業式 さくら市認定農業者協議会総会
- 20日 観光施設管理協会理事会
江川南部土地改良区第17回通常総会
- 25日 例月現金出納検査
- 30日 第15回さくら市体育協会総会並びに研修会

○日時 平成31年1月17日(木) 14時～16時30分
 ○行先 TKP東京駅八重洲カンファレンスセンター
 ○参加者 さくら市議会議員16名



講師紹介
松野 豊氏

元千葉県流山市議会議員、
 現在 麗澤大学地域連携センター
 客員研究員



目的

地方議会研究会が主催する「自治体議員向け基礎講座」を受講することにより、議員としての政策形成や立案能力などの資質向上を目指すとともに、議会の機能を高めることを目的としています。

研修内容

「シティプロモーション」＝「住民から選ばれるまちづくり」

講義の前半は、千葉県流山市の取り組みについての説明でした。流山市は、平成15年10月に日本で初めて市役所内にマーケティング課を設置し、人口減少に向けてのブランドマーケティングの発想を取り入れました。特にDEWKS(Double Employed With Kids)を流入人口ターゲットに絞り、取り組みを進めてきました。

具体的には保育園の園児の充足率を調査した結果、駅から遠い保育園の充足率が低いことが判明しました。そこで保育園送迎ステーションを市内2か所に設置、一回100円を利用できることから100組以上が利用し、市民から大変喜ばれている、といった事例が紹介されました。その効果としては、平成17年と

平成24年比較で、30歳～39歳までの人口構成比率が1.9%増加するに至りました。

こうしたマーケティングの分析にはSTP (Segmentation Targeting Positioning) といった手法(市場を細分化して、ターゲット層を抽出し、競争優位性を設定する)が採用され、この考え方を自治体広報戦略に応用し「母になるなら、流山市」のキャッチコピーを生み出しました。

講義後半はこの考えを議会広報にも応用できないか、といった内容でした。

- ①目的や目標、KPIを明確にする。
- ②ターゲット別にメディア(媒体)を分ける。
- ③Co-CREATE(一緒に考えて一緒に作る)。
- ③については、「こう」と読む漢字をできるだけ多くあげるといった実証事件も行われ、一人では最高25程度でありましたが、全参加者では60もの多くの漢字を書きだすことができ、協力することの重要性を改めて認識しました。



今回の研修では、各自治体が口をそろえて「シティプロモーション」を叫ぶ昨今、いかに他自治体との違いが見せられるかを改めて認識しました。市場調査やデータ分析など多大な労力と費用が予想されますが、避けては通れない関門であると痛感しました。今後さらなる勉強をして参ります。

どうなったんべあの質問は?



ボランティアポイント制度について

(市民活動やボランティア活動への支援について)

議員が行った一般質問は、市政にどのように反映されているのでしょうか。

これまでの質問の中から取り上げて、その後の状況をお知らせします。

平成28年第1回定例会、平成29年第2回・第3回定例会、平成30年度第4回定例会の一般質問

以前は…

さくら市では、市民の皆さんやNPO、ボランティア団体等が地域の課題を解決するため、対等な立場でお互いに違いを認め、補完し合いながら連携・協力してまちづくりを行う“協働のまちづくり”を進めてきました。

その一方で、市民活動やボランティア団体の中には、新たな構成員の確保や担い手不足に悩む団体も少なくなく、構成員のボランティアへの意欲や活動の低下につながってしまうという課題がありました。



現状は…

既にボランティア活動をしている方や、これからボランティア活動を始めたいという方の意欲を高めるため、平成29年4月にボランティアポイント制度ができました。

この制度は、まずは市の登録ボランティアとなり、ポイント付与団体に認定された団体での活動に対し、ポイントが付与され10ポイント貯まると道の駅きつれがわ温泉入浴券、いきいき商品券、図書カードなどと交換できます。

現在は625名の方が登録し、様々な活動を行っています。

ポイントカードの利用のしかた

①事前にポイントカードに「年月日」と「行事名」を記入し、会場に着いたら主催者に提出します。
 ②活動が終わったらポイントカードを受け取り、スタンプが押してあるか確認します。
 ③10ポイント貯まったら、市民活動課の窓口で指定メニューと交換できます。

さくら市総合政策課 ☎681-1113

さくら市ボランティアポイント制度
ポイントカード

氏名 _____

No.	年月日	活動名・活動内容	スタンプ
1			
2			
3			
4			
5			

No.	年月日	活動名・活動内容	スタンプ
6			
7			
8			
9			
10			

Road to renewal

議会だよりリニューアルの歩み

さくら市議会広報委員会では、市民の皆さまにもっとわかりやすく内容をお伝えできる議会だよりを目指し、リニューアルを行っていくことにしました。

* プロセス *

- 1 「見やすさの見直し」
 - ・横書き
 - ・色使い、レイアウト、文字の太さ
- 2 「手に取ってもらえる表紙の見直し」
- 3 「議会をもっと身近に感じてもらえるような内容の見直し」
- 4 「リニューアルの方向性決定」

まずは今号で、アルファベット、数字表記で苦慮していた文面の改善のため、紙面を横書きにし、色使いや文字の大きさなどにも工夫を加え、見やすく変更しました。



市 民 ア ン ケ ー ト

「そもそも手にとってもらえなければ読んでもらうことができないのでは？」という観点から、市民の皆様にはどのような表紙が好まれるのか、桜満開の氏家ゆうゆうパーク、喜連川商店街に出向き、街頭アンケートを行いました。

4月13日(土)
氏家ゆうゆうパーク

4月14日(日)
喜連川商工桜まつり会場



どれがいいかな？



あなたが手に取ってみたいと思う表紙はどれですか？

みなさんご協力ありがとうございました



あなたが手に取ってみたい表紙はどれ？

番号と簡単な理由をお聞かせください。



1



2



3



4



5



宛先はこちら

さくら市議会事務局

電話 028-681-1123

Fax 028-682-3921

《メールアドレス》

gikai@city.tochigi-sakura.lg.jp



6



7



8



9



10



プロ意識

市民の声

あべ ともひこ
阿部 朋彦 (氏家)

私は一昨年夏に氏家駅前が父が経営する店に帰ってまいりました。フレンチをベースに鉄板焼き等を学び、宴会場ではウェディングや立食パーティー、ディナーショー等の宴会料理を経験し、レストランでは華やかで芸術的な料理に触れ、技術や感性を磨いて参りました。そういった経験の中で特に私の財産になったのは、生産地から直接食材を届けてくれる生産者の方々との出会いでした。この出会いは私の料理人としてのプロ意識、「美味しい料理を作ればよい」という安易な考えから何歩か前へ前進し視野を広げさせてくれるものでした。生産者の方々の想いを感じその想いを料理に反映させること。そういった想いの詰まった料理を提供し続けるためにも、商品の一つ一つに価値を見出し、お客様のニーズとマッチングさせ、永くお客様に愛され、再来店頂ける店舗経営をしっかりと成り立たせていくという覚悟を持つ事こそが、プロ意識の高い料理人なのだと気づかされた出会いでした。さくら市でもこういった出会いを大切にして、お客様感動を追求すると同時にさくらブランドが少しでも広い地域に知られるお手伝いをしながら、日々の営業に努めて参ります。



お知らせ

次回 6月定例会予定
6月4日(火)～
6月18日(火)

◎正式な日程は、後日開催する議会運営委員会にて決定いたします。

結婚祝※1 	地域の運動会・スポーツ大会への飲食物等の差入 	お祭りへの寄附・差入
町内会の集會・旅行等の催物への寸志・飲食物の差入 	みんなで徹底しよう 三ない運動 贈らない! 求めない! 受け取らない! これらのものも、政治家の寄附禁止の対象となります。	落成式・開店祝等の花輪
病氣見舞 	入学祝・卒業祝 	お歳暮・お年賀
葬儀の花輪・供花 	香典※2 	

※1 政治家本人が結婚披露宴、葬式等に自ら出席してその場で行う場合は罰則が適用されない場合があります。
※2 議員の初盆での御香典や寄付は、公職選挙法により禁じられています。

編/集/後/記

平成の時代が終わり、令和となりました。様々なしがらみの中での古い体質を、時代とともに議会並びに行政も、新しい体質に変えていくために、広報委員会は市民の皆様一人ひとりの意見に耳を傾け、その時代に合った、市民主導のまちづくりに努力していきたいと思っております。今後とも御指導よろしくお願い申し上げます。

(鈴木 恒充)

